

令和 5 年 賃貸不動産経営管理士合格 講義と過去問を繰り返し、ジャンル ごとの過去問で効率よく学習できた

中村 禎さん

30代 会社員

2023/ 賃貸不動産経営管理士試験 / 総合カリキュラム

賃貸不動産経営管理士試験の受験回数：1 回目

カリキュラムの学習期間：2 か月

アガルートの講座（カリキュラム）を受講した決め手

講師が良かったから、合格特典があったから、合格者インタビューなどのYouTube動画を見たから

賃貸不動産経営管理士試験を目指した理由・契機

宅建の資格取得を目指して勉強していたところ宅建の他にも不動産関係の資格がいくつかあることを知りました。

その中で賃貸不動産経営管理士は、

- ・国家資格となり今後もニーズが増えていくこと
- ・宅建の知識と重複する部分があること

を感じたため、受験することに決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

宅建の勉強は独学で行っていたため、独学で受験しようと思いましたが、賃貸不動産経営管理士の試験は最近国家資格となったこともあり、出題傾向の見通しを立てるのが難しく、独学と過去問周回では難しいかもしれないと感じていました。

そのため各社の通信講座を調べ、その1つとしてアガルートアカデミーに出会いました。講義や過去問に加え、直前対策など私が不安に思っている部分も厚くカバーしてると感じたため、受講することを決めました。また、合格特典も魅力的であったことも理由の1つです。

合格体験記・学習上の工夫

アガルート社の講座に申し込んだのは9月中旬であったため、9月中旬～10月下旬（宅建の試験日）の間は、宅建の勉強と並行しながら総合講義を進めていました。

総合講義のチャプター数を見て、宅建の試験日までに総合講義の上巻を受講し、宅建受験後から賃貸不動産経営管理士の試験日（11月下旬）までに総合講義（下巻）、その他の過去問講座、まとめ講座、直前講座を受講しました。

過去問については平成27年～令和4年までの8年間を一通り解き、間違えた問題はアガルートの過去問解説講座を聞きなおし、2度、3度解くことで近年の過去問についてはマスターしたと思えるレベルまで持っていました。

試験1週間前から過去問ではなく、総まとめ講座、直前ヤマ当て模試に加えて、市販の予想問題集を解くようにしました。予想模試については、計6回分を行い、過去問と予想問題集である程度の得点を取れるようになったので、自信をもって試験に挑むことができました。

かなり王道な方法ですが、講義と過去問を繰り返して地力をつけて（過去問については9割程度正解できる程度）、直前模試で仕上げるというやり方でした。特に直前模試は、過去の傾向から今年出そうな問題が取り上げられており、独学では難しい部分でしたので非常に有意義なものでした。

総合講義のご感想・ご利用方法

講義資料に記載してある情報量は、必要な情報を網羅しているため多いと思います。しかし講義では重要な部分を中心に進めてくれるため、私のような隙間時間で勉強する人にも時間をかけすぎずに必要な知識を学べたと思います。

総合講義の動画は1周しか見ていませんが、動画を見ながら講師が強調する部分にマーカーをしたり、赤ペンで補足を記入することで後から見返しても分かりやすいテキストになりました。

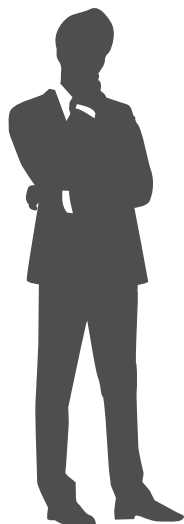
1つのチャプターで長くても20分程度のため、基本1.25～1.5倍速で見ること小分けにして、計画的に受講を進めることができました。

テキストについては、重要ポイントが「Point」として強調されていたり、補足的な事項が「Note」として、本文とは異なる記載をされているため理解しやすかったと思います。また、主に講師を務めていただいた工藤講師は、単なる教科書の朗読ではなく、具体例など補足情報も充実して教えて下さり聞いている側も飽きずに聞けました。

私の場合は受講を始めたのが9月中旬で宅建試験と同時に並行で時間をかけられないためチャプター数を確認し、1日にいくつのチャプターを進めるかを決めて、計画的に進めていきました。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問については単純な正誤だけではなく、どのように正誤を導いたのかという過程が



令和 5 年 賃貸不動産経営管理士合格 質問制度を利用した

牧ヶ野 厚生さん

60代 無職

2023/ 賃貸不動産経営管理士試験 / 総合カリキュラム

賃貸不動産経営管理士試験の受験回数：1 回目

カリキュラムの学習期間：7 か月

アガルートの講座（カリキュラム）を受講した決め手

講師が良かったから、合格特典があったから、質問制度などのフォロー制度が充実しているから、合格実績が良かったから

賃貸不動産経営管理士試験を目指した理由・契機

以前賃貸ビル所有会社に在籍していましたので、6 年前に宅地建物取引士資格を取得して以来、年に 1 資格のペースで、主に不動産法律系の国家資格を取得して来ました。

既にその会社も退職していますが、リスクリングの一環と保有資格のメンテナンスのために集大成として、自分にとって国家資格 5 つ目となる賃貸不動産経営管理士の取得を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

通信講座を利用することは自分として決めていましたが、事前にネットを中心に本資格の通信講座各種の情報を収集しました。

気さくな感じの工藤先生のパーソナリティーと講座の評判がトップであったこと、講座受講者の合格率の高さが魅力でした。

最終的な決め手は合格特典があることと、質問制度等フォロー体制が自分のニーズに合ったことです。

合格体験記・学習上の工夫

講座の申し込みは 3 月にしましたが、実質的に本格的な学習開始は 6 月になってからでした。

国家資格受験は 5 つ目ですが、毎度のことながら勉強が進むほど学習の進捗の遅さと資格取得に向けての自分の対応の甘さを痛感する日々であり、全くフリーの年金生活者で、時間だけはいくらでもあるはずですが、70 才という年齢からも記憶力、集中力、体力の減退との戦いでもありました。

そんな中、毎月のホームルームでは、先生から学習の進捗への指標を示して頂き、学習のポイントが適時的確に与えられるので精神的にも安心材料で、それに基づいた学習を改めて実施しました。

動画を含め、与えられた教材を全て 1 回は実施し、アウトプットに重点を置いて間違えたり、あやふやな箇所は何度も問題を復習する事と、自分なりのまとめや図表等作成することで、知識の定着を図りました。

何回テキストを読んでも完璧に習得は出来ないので、過去問を何度も解いて自分の理解の欠落部分を具体的に把握した方が、受験勉強としては効率が良いと考えます。

・質問制度の活用

活用すると非常に有難いシステムでした。

先生からは都度的確なご指導が得られたことです。

納得いくまで質問して次に進みたいという自分の性格に合致した制度でした。

詳しく回答してくださった後、質問内容によっては、そこまで詰めなくても受験的には問題ありませんよとの有難いアドバイスも有りました。

賃貸不動産経営管理士協議会事務局結城氏へのインタビューは、本資格全体を俯瞰的に捉えていて、しかも資格試験実施団体の方の話なので、大変興味深く視聴させて頂きました。

・5 問免除制度の活用

工藤先生も推奨されていましたが、合格確率を上げる手段として、割り切って利用しました。

5 問免除されたうえ、受験時間は減らされないで、メリットは大きいと考えます。

・公開模試の受験

こちらも工藤先生が多面的な角度から出題傾向を経験できる観点で推奨されていたので、大手資格予備校の公開模試を 3 回受験しました。

時間配分や、会場の雰囲気等の場慣れ訓練と、各模試で出題傾向や結果の分析等で自分の弱点分野や受験者の順位等で実力の把握に役立ちました。

・直近 2 ヶ月のモチベーションアップと集中学習

過去の受験経験から、自分の性格として直近 2 ヶ月位で、特に集中して勉強することによりモチベーションを高めて本番に臨むように仕上げていきました。最後まで粘って諦め



令和 5 年 賃貸不動産経営管理士合格 工藤先生を信じて「まず1周」

片野 真由美さん

40代 会社員

2023/ 賃貸不動産経営管理士試験 / 総合カリキュラム

賃貸不動産経営管理士試験の受験回数：1 回目

カリキュラムの学習期間：4 か月

アガルートの講座（カリキュラム）を受講した決め手

予備校に通学するのではなく、オンラインで学習したかったから

賃貸不動産経営管理士試験を目指した理由・契機

今年、賃貸管理部へ部署移動し管理業務に携わる事になりました。

管理物件のオーナーや入居者と直接かかわる機会が増え、その際に根拠や説得力を持って適切な対応をしたい、そのために何を学べば良いかと考えていました。実務としても、自身の学びの機会としても当資格試験の勉強がぴったりだと感じ、チャレンジする事になりました。

というのが表向きの理由で、もう1つの理由は息子の受験勉強に並走するためです。

限られた時間の中で目標に向けて学ぶ姿と合格する姿を見せたいと思っていました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

退勤後はすぐに保育園のお迎え→家事→22時頃にひと段落という生活のため、通学が必要な講座は選択肢にありませんでした。オンライン講座は自分のペースで学習できるのが最大の魅力です。

また当社では他の社員の資格試験でもアガルートアカデミー講座を利用しており、合格実績があり、信頼感がありました。

合格体験記・学習上の工夫

大切なのは、合格のイメージからの逆算と、アガルートのカリキュラム（講師の先生のアドバイス）に沿って学習する事だと考えています。

私が受験の意思を固めて講座申込をしたのは8月上旬でした。他の受験者より期間も学習時間も短い事が明らかな状況でしたので、150時間の学習で合格を目指そう、勉強時間はまず週7時間なら無理せず必ず確保できるだろう、と逆算しました（明らかに足りないですがこれは下限値として必ず守る、と決めました）。

まず平日は無理をせず休日は3時間学習するというスケジュールで、8月9月を過ごし、10月以降は試験の前に良い意味で焦りが出て、自然と学習時間を増やす事ができたと思います。

全体の流れとしては総合講義をざっと1周、どのような出題傾向なのかを理解するために過去問解説講座を1周、総まとめ講座はテキストのみ一読と進めました。1巡したところで、テキスト上巻は理解が必要で、下巻は主に暗記が必要と感じたため、総合講義前半のみ2周目に入り、下巻は暗記できていない部分の過去問とテキストの往復を大切にしました。

講師の工藤先生が動画の中で度々「似たような事が何度も出てくるので1回で覚えなくても大丈夫」と仰っていました。たしかにその通りで、動画の中では何度も繰り返し丁寧に教えてくれます。まずは理解できなくても焦らず、似たような事が出てきたときに、混乱しないように整理して学習する事を心掛けました。

総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義で大切にしたのは、とにかくテキストへたくさん書き込みする事です。工藤先生がアンダーラインを引いたところ、講義中にコメント書きしたところ、図を描いたところを、すべて同じようにテキストへ記入しました（ただし時間を掛けない、雑でも自分が読めればOKとして）。

動画を見ながらテキストへ書き込む事で、耳で聞く・目で見ると同時に書くが同時進行できるので、記憶が定着しやすくなります。後から見返した時も、大切なポイントが目に残りやすくなります。

それから、自信がなくても「まず1周」を終わらせる事が大事だと感じました。動画を見ても理解度が低くて不安になる事もありましたが、何度も繰り返すカリキュラムになっているので工藤先生を信じて取り組みれば大丈夫でした。

1巡したところで、上巻は理解が必要で下巻は主に暗記が必要と感じたため、上巻のみ2周目に入り、後半は暗記できていない部分の過去問とテキストの往復を大切にしました。

試験直前まで、総合講義テキストメインで似ている所、混乱しやすいところを重点的に繰り返しました。特に各種契約書や重説記載項目は見比べと繰り返しを大切にしました。

動画では、工藤先生の「常識で考えたらこんなのダメでしょう？」とか「大家さん困っちゃいますよね」といった砕けた説明や口調が記憶に残りやすく、よく理解できました。